

北海道岩宇・南後志地区沖の地域振興及び漁業振興による将来像

1. 基本理念

当海域において、洋上風力発電の導入により見込まれる地域共生金については、当海域内の3漁協で均等に配分されること、また、固定資産税については、関係6町村で均等に配分されることを希望するとともに、洋上風力発電導入において発電事業者による地域との共生策等については、導入の恩恵が、可能な限り幅広く、かつ公平に享受できるようにすることを強く望むものである。

2. 希望する漁業振興策及び地域振興策

当地域においては、人口減少や漁獲量の減少などの様々な地域課題の解決に向けて、洋上風力発電の導入促進に向けた取組を重要な取組と捉え、この新たな海洋産業の創出によって、漁業の振興はもとより、新たな雇用の創出や、交流・関係人口の増加、地域の知名度向上などの地域の発展に寄与するものであると、大きな期待を持っている。

加えて、再生可能エネルギーの導入により、地域内での脱炭素化の加速化も考えられることから、以下の、漁業振興策や地域振興策を希望する。

○漁業振興策 ※基金活用等

- ・ 持続可能な漁業の実現に資する取組
- ・ 漁業所得の向上・安定化につながる取組
- ・ 漁業の効率化と経営安定化の取組
- ・ 発電設備等に設置されたモニタリングデータの活用
- ・ 密漁対策の取組への協力

※左記の事項については、海域全体を総括的に記載したものであり、各漁協及び町村ごとに、詳細については整理している。

○地域振興策

- ・ 洋上風力電力の地産地消による地域の脱炭素化
- ・ 地元港湾の積極的な活用による地域経済の活性化
- ・ 観光資源の活用・連携・PR
- ・ 地域産品の知名度向上、消費拡大による地元経済の活性化、雇用創出
- ・ 発電事業における地元の資源・人材活用・雇用創出・人材育成による地元経済の活性化
- ・ 体験型再エネ教育や脱炭素教育の連携
- ・ 住民との交流、地域活動への参加による活性化
- ・ 地域交通の充実、脱炭素化に向けた技術的支援

寿都町の将来像【振興策と協調策のイメージ】

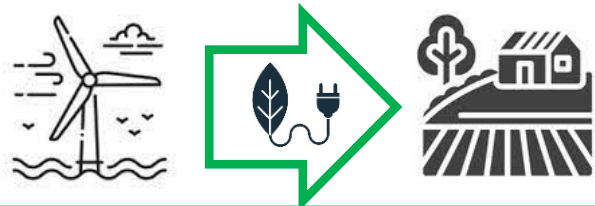


はじめに、第1回法定協議会でも述べているとおり、洋上風力発電の導入に伴う地域共生基金については、関係3漁協、固定資産税については、関係6町村で均等となるように配分をお願いしたい。

その上で、寿都町として以下の振興策及び協調策を実施していただきたい。

1. 電力の地産地消

洋上風力発電により発電された電力の地産地消により、地域内の脱炭素化及びその電力を活用し、産業振興等、地域発展の可能性に大きな期待を寄せている。



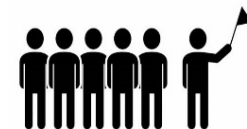
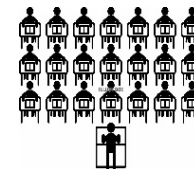
2. 交流・関係人口の増加

選定された事業者には、地域内でのイベント等へのボランティア参加など、地域内とのコミュニティの構築に積極的に参画していただきたい。



3. 再エネの普及啓発

地域内の学校への出前授業のほか、洋上風力発電を活用した観光等においても積極的に関わっていただき、幅広く再生可能エネルギーの普及啓発に関っていただきたい。



4. 雇用の促進と人材育成

選定事業者においては、地域内での雇用を積極的に行うとともに、人材の育成についても積極的に行っていただきたい。



5. 地域内消費の拡大

地域内での資材調達や宿泊、飲食はもとより、地域内に関係者が居住するなど、地域内商工業の活性化に対してもご配慮をいただきたい。



洋上風力発電の導入によって、地域内の資源である“風”を活用し、地域内での好循環を生み出し、地域の継続的な発展に寄与していただく事に大きな期待を持っている。

洋上風力発電に係る地域振興策のイメージ



蘭越町

洋上風力発電の導入により見込まれる地域共生基金については、当海域内の3漁協で均等に配分されること、また、固定資産税については、関係6町村で均等に配分されることを希望するとともに、次の地域振興策に関する貢献を期待します。

脱炭素化の促進

洋上風力発電電力を地域内で使用し、地域内の電力料金の削減や再エネ電力の確保、脱炭素化の促進を期待



農業の振興

農作業の省力化や農作物の高付加価値化を進めるため、スマート農業に関する支援を期待



地元の人材確保

洋上風力発電施設の建設及び維持管理等に係る人材の積極的な地元雇用と洋上風力発電電力を使用する企業誘致を期待



観光の振興

ニセコエリアを含むエコツーリズム等を活用した観光ツアー等の実施による地元PRや地域を巡回する公共交通への支援を期待



地域活動への参加

地域のイベントなどへの参加や資金援助、協賛など、地域の交流活性化への貢献と地域社会との良好な関係構築を期待



洋上風力の導入効果と地域振興策の実施による地域と事業者の共存共栄を期待！！

■地域共生基金・固定資産税の活用策

地域共生基金は、海域に面した3漁協で均等割で配分、固定資産税は、海域に面した6町村で均等割で配分し、それぞれ漁業振興及び地域振興に活用する。

①港湾等の利活用

- ・岩内港及び地域の漁港において、設置工事及び稼働期間中のO & M港での利用と、その利用に伴う必要な施設の整備や改良
- ・洋上風力発電事業における地元港湾の積極的な活用を通じた、港湾地域の活性化の取組



③産業振興

- ・洋上風力発電に関する地元企業への積極的な情報提供を通じた、地域における新産業の育成や関連する雇用確保の取組
- ・地域内の資材活用や関係者の宿泊など、地域内消費の拡大



②教育振興

- ・地域の学校での出前授業のほか、児童生徒を対象とした見学や体験機会の提供等を通じた、再生可能エネルギーの普及啓発



④観光振興

- ・洋上風力発電事業を活用した観光ツアー造成への協力や教育旅行誘致への協力等、洋上風力発電事業を契機とした観光振興の取組



※ 上記のほか、岩内町総合振興計画や総合戦略などの各種計画を踏まえ、地域振興の取組を図っていくこととする。

岩宇・南後志地区沖の地域振興による将来像【共和町】

基本理念

洋上風力発電導入により見込まれる地域共生金については、当海域内の3漁協で均等に配分、固定資産税は関係6町村で均等に配分し、漁業振興策及び地域振興策により地域の活性化を目指す。

産業振興

- 基幹産業である農業等への情報通信技術の活用など地域産業の振興支援
- 建設・設置、メンテナンス、運用等、地域企業の活用や広範囲にわたる雇用機会の創出
- 地場産品の販路・消費拡大による知名度向上

地域ブランド（らいでんメロン）



人材育成

- 人材の確保、育成を積極的に取り組み地域内で人を育て、雇用する仕組みの構築



観光振興

- 発電施設を観光資源としたエコツーリズムや教育旅行等の誘客、地域観光資源との融合



共和町道の駅（2027年度開業予定）

教育振興

- 地域の小中学校との連携、児童・生徒を対象とした社会科見学等、エネルギー環境教育の活性化

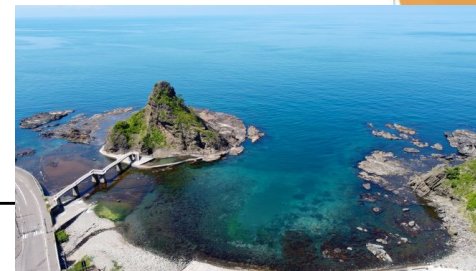


共和町義務教育学校（2028年度開校予定）

地域力の向上、魅力ある地域へ



岩宇・南後志地区沖の目指すべき将来像について



◇岩宇・南後志地区沖洋上風力発電導入推進組合基本理念

- ①洋上風力発電の導入により見込まれる地域共生基金については、3漁協で均等に配分されること。
- ②洋上風力発電の導入により見込まれる固定資産税については、6町村で均等に配分されること。

上記の①及び②が実現されることを強く希望します。また、以下の問題点を強く認識し、振興策等を実施していただきたい。

◇当地域の抱える問題について…

少子高齢化や人口流出による地域内での人口減少及び若年層の流出により、労働力の低下や地域イベントの担い手不足が挙げられる

→選定事業者には当地域の抱える課題・問題点等を十分に理解した上で、地元自治体と一緒に解決に向けて知恵を出し、振興・発展を考えてくれる事業者が選定してくれることを期待する。

◇泊村における将来像 ～ 地域振興策 ～

- ①洋上風力発電建設等に係る雇用人口の増加、地域雇用の拡大
- ②事業者の流入による地元経済の活性化(地元民宿や商店の積極的活用による消費等の拡大)
- ③観光資源の創出・PR(特産物や観光施設の情報発信)
- ④人材育成の機会、環境学習の場の創出
- ⑤地域公共交通に係る技術等の側面的支援



洋上風力発電事業を通じた地域振興策のイメージ



神恵内村

はじめに、洋上風力発電の導入により見込まれる地域共生金については、当海域内の3漁協で均等に配分されること、また、固定資産税については、関係6町村で均等に配分されることを希望し、以下の振興策及び共生策を実施していただきたい。

地域資源を活用した新たな観光振興

神恵内青少年旅行村を中核とした自然・アクティビティ体験、鯨漁に纏わる袋潤等の漁場遺構群を地域資源とした歴史・文化観光の取組に対する情報発信等の支援のほか、洋上風力発電事業を契機とした観光ツアー造成や教育旅行誘致への協力等をお願いしたい。



神恵内青少年旅行村

地域内消費の拡大

地域内での資材調達や飲食・宿泊の積極的な利用はもとより、事業従事者の地域内居住を促進する住環境やインセンティブの整備を検討いただくなど、商工業の活性化にも配慮いただきたい。



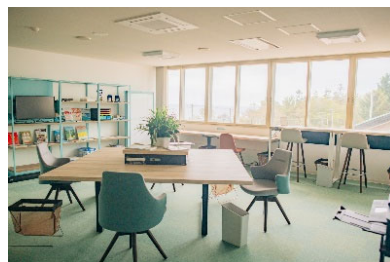
雇用促進と人材育成

若年層の地元定着・回帰を図るためにも地域内での雇用と人材の育成にも積極的に関わっていただきたい。



交流・関係人口の増加、地域のにぎわい創出

地域コミュニティの活性化方策として地域内イベントやお祭りへの積極的な参加をお願いしたい。また、当村のワーケーション事業で岩宇・南後志地域の魅力を体験いただくことにより、社員のモチベーションアップと生産性の向上、地域の活性化に寄与いただきたい。



神恵内村 Coworking スペース

電力の地産地消と技術支援

公共交通のグリーンエネルギー化やAIの活用、自動運転など発電事業者が持つ最先端技術の導入やノウハウを生かした側面的な支援と脱炭素社会に資する取組の推進に協力いただきたい。



岩宇地域海岸線（通称：しおかぜライン）

洋上風力発電事業のみならず、当地域の課題やポテンシャルをビジネスに活かしていただくことで、地域の継続的な発展にも寄与し、地域と事業者の共存共栄が図られることを期待しています。

岩宇・南後志地区沖洋上風力発電導入推進組合基本理念

はじめに、洋上風力発電の導入により見込まれる地域共生基金については、当海域内の3漁協で均等に配分されること、また、固定資産税については、関係6町村で均等に配分されることを強く希望し、以下の振興策及び共生策を実施願いたい。

～漁業振興策～

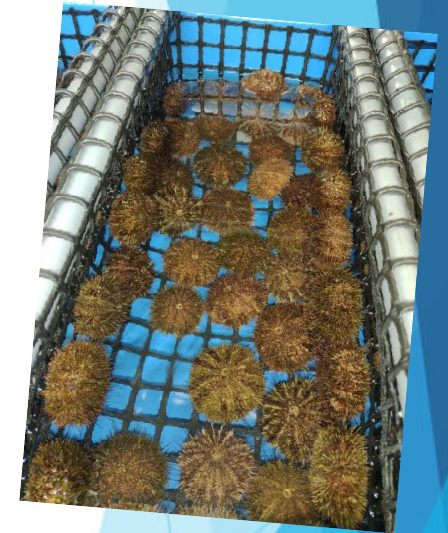
配分される地域共生基金を活用し、将来の水産業のために下記のような振興策を実施していく。

- ①減少する漁獲量に歯止めをかけるため、陸上養殖事業等への積極的活用
- ②漁業の効率化を図るため最新の漁具等の導入支援
- ③老朽化する漁協施設の修繕や更新整備等の支援

～漁業共生策～

建設される風力発電施設を活用した風力事業と漁業との共存共栄を実施していく。

- ①最先端技術を活用した養殖事業等への支援を期待
- ②漁業影響調査の長期実施と地元漁協及び漁業者との連携を期待
- ③洋上風力発電施設を活用した漁業との共存共栄を期待
- ④発電施設建設及び維持等における漁港・港湾の積極的活用を期待



岩内郡漁業協同組合の漁業振興による将来像

■地域共生基金・固定資産税の活用策

地域共生基金は、海域に面した3漁協で均等割で配分、固定資産税は、海域に面した6町村で均等割で配分し、それぞれ漁業振興及び地域振興に活用する。

①漁業共生策

- ・ 洋上風力発電の導入に関する不安払拭のため、漁業影響調査の実施を通じ、漁業者への丁寧な情報共有を行い、風力発電の導入に伴う影響について、関係者の理解を得ながら進めていただきたい。
- ・ 当海域における漁業影響調査の実施にあたっては、地域内の漁船等を積極的に活用するとともに、漁業者の意見を十分に聞き取りながら進めていただきたい。



②漁業振興策

- ・ 発電施設海域周辺の藻場造成や魚礁による漁業への効果検証
- ・ 振興事業の実施や、担い手・労働力確保対策等の漁業振興への支援
- ・ 海況調査において取得された情報（水温、流向、流速、波高、風速、風向）のリアルタイムでの情報提供
- ・ 風力発電の監視用カメラ等を活用した密漁監視や、漁業操業・海上操業の安全監視

※ 洋上風力発電の導入を契機として、風力事業と漁業との共存共栄及び将来の水産業のための振興策を目指していきます。

寿都町漁業協同組合の将来像【振興策と協調策のイメージ】

1. 漁業者との協調に向けた対応策

①漁業影響調査の長期実施

漁業者の中には、洋上風力発電の導入にあたって、不安を持っている者もいることから、不安払拭のため、長期的に調査を実施するとともに、漁業者にも情報を共有し、風力発電の導入との因果関係等についても示せるように調査を行うこと。

②各種調査等における漁業者との連携

漁業影響調査等の海域での調査の実施にあたっては、漁業者を同行させるとともに、地域内の漁船等を積極的に活用すること。



2. 漁業振興策

①地域共生基金を活用した取組

漁業所得向上や安定的な経営を行い、魅力ある漁業とし、担い手不足解消による、持続的な漁業の確立に向けた取組に対して計画的に活用する。



②発電設備のモニタリングデータの活用

洋上風力発電の運用等で取得されたデータ等について、漁業操業においても有効であることから、漁業者がオンラインで見ることができるよう配慮いただきたい。

また、密漁対策においてもご協力をいただきたい。



洋上風力発電の導入を契機として、資源、人、技術と持続的な漁業の確立を目指す取組につなげる。